

 にほんまつ

市議会だより

第55号

6月定例会

令和元年8月1日発行

発行：二本松市議会

編集：議会だより編集委員会



安達ヶ原ふるさと村公園河川敷広場オープン

議会報告会開催結果……P.2～3

定例会概要……………P.4～5

一般質問・討論……………P.8～15

第3回議会報告会を開催

貴重なお意見をいただきました

3回目となる今年度の議会報告会を、5月21日から23日にかけて市内6会場で開催し、116人の方に参加いただきました。

今回は、主に3月定例会の審議内容を議員から説明した後、参加された皆さんとの意見交換を行いました。それぞれの会場で皆さんからお寄せいただいた主なご意見を紹介します。

また今回のご意見・ご提言は、議会に対応するものと市で対応するものを精査し、市（執行機関）に伝えるべきものは、まとめて市長へ提出します。

■二本松地域（二本松・塩沢地区）

開催日時 5月21日（火）午後7時
会場 二本松住民センター
参加人数 15名



○75歳以上の高齢者の公共交通運賃無料化は、高齢ドライバーにとって大変嬉しい施策として歓迎するが、市の予算配分として若者への予算措置の必要性も重要に思う。高齢者も若者も共に住みよい二本松となるような財政運営をお願いしたい。

○観音丘陵遊歩道の近くは多少伐採したが、もっと先まで切ってもらわないと眺めがよくない。また、亀谷坂から遊歩道へ上がる階段が上がりづらいので何とかして欲しい。

○キャッシュレス決済実証事業の500万円は何に使われるのか。

■東和地域

開催日時 5月21日（火）午後7時
会場 東和文化センター
参加人数 17名



○仮設焼却炉が試験稼働したそうだが、地元住民には何の情報もない。搬入するルートも変更になったが知らされていない。不安である。安全であるならば現場見学会をするなどの対応をしてほしい。

○区長会の区長の意見が通らない流れになっている。議員も少なくなり地元の声が届きにくくなっている。市民の声を議会を通じて行政に反映するようなシステムにしてほしい。

○街路灯のLED化の進捗状況は。

○東和中学校とカントリーパークの間の階段がぼろぼろで大変危険な状態になっており改修が必要である。

■二本松地域（岳下・杉田地区）

開催日時 5月22日（水）午後7時
会場 杉田住民センター
参加人数 18名



○外国人観光客に対しての案内が英語だけでは足りないのではないか。多言語化が必要である。

○保育所の待機児童が二本松市は増えているという報道がある。市の対応は。

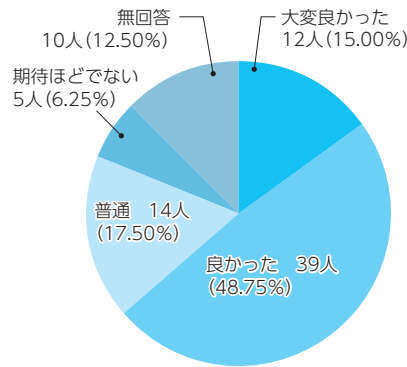
○雪の際に大変なので、岳下・杉田の通学路の整備を2～3年のうちにしてほしい。杉田の踏切を何とかして欲しい。

○杉田駅周辺整備事業の進捗状況は。

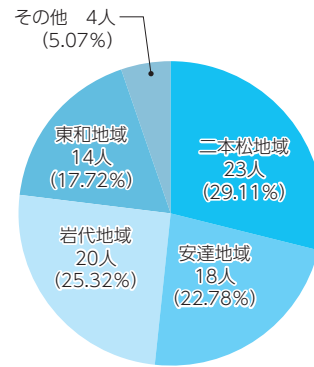
アンケートから 参加者の声

- ・議会報告会の資料がわかりやすい。活動の現状がわかって良かった。
- ・質問に対する回答に時間がかかり、十分な説明がなされない。もう少し事業の内容を理解したうえで、報告会に出席してほしい。
- ・もう少し、若者も参加して、意見交換ができれば充実した会議になると思う。こういった機会は継続してほしい。
- ・この形式はそれなりに意義はあると思うが、地元選出議員の方々が一会場にて地元住民との懇談の機会を設けて意見を市行政に活かしてほしい。

Q参加してどうでしたか？



Qお住まいの地区は？



※参加者116人中、80人の方から回答をいただきました。(回答率68.97%)

■岩代地域

開催日時 5月22日(水) 午後7時
 会場 新殿住民センター
 参加人数 26名



○昨年度議員定数が減になったが、1年間議会活動はどうだったのか。運営はやりやすくなったのか。

○パークゴルフ場をスカイピアの場所に計画しているが、通年利用できる場所に設置できるよう、パークゴルフ協会を含めて協議のうえ、場所の選定をしてほしい。

○安達東高校が統合によりなくなる。岩代から高校がなくなる。残してほしい。

■二本松地域 (石井・大平地区)

開催日時 5月23日(木) 午後7時
 会場 大平住民センター
 参加人数 15名



○市の事業は地域的に偏りがある。岩代、東和の方に予算を振り分けるようなバランスのとれた予算の取り方をしてほしい。

○農業振興地域になっているが、現在は農業をやっていない土地を有効活用できないか。

○子どもや妊婦さんを守る(受動喫煙)対策として、市の公共施設での対応はどうなっているのか。

■安達地域

開催日時 5月23日(木) 午後7時
 会場 渋川住民センター
 参加人数 25名



○汚染土壌の中間貯蔵施設に移動できる時期は。

○二本松市も油井地区には集中して人口が増えている。均衡ある発展のために、渋川地区に安達駅に行ける道路を整備するとか、住宅地を集团的に整備すれば、渋川小学校の児童も増える。(100人を切るような状況)

○道路管理で道路に8割くらい立木がかぶさっているところを、何とかしなくてはならないのでは。

議案第49号・議案第56号

国民健康保険税条例の一部改正及び国民健康保険特別会計補正予算案を可決

国民健康保険制度は、将来にわたり国民皆保険を堅持するため、昨年度から市町村に加えて都道府県が国保の保険者となり財政責任を担うこととなりました。今回の国民健康保険税条例の一部改正は、決算見込み額の確定等による国保税率の改正などが主な内容です。

本市の国保の現況は、平成30年度決算見込では、歳入において収納率の向上により保険税を見込みより多く確保できたことや、歳出においては医療費適正化事業や国保保健事業の取り組みなどで医療給付費が見込みより低く抑えられたことなどから、健全運営を図ることができました。

今回の予算補正は、被保険者の負担を抑制しつつ、確保すべき事業費納付金の財源等が措置されました。これにより医療分、後期高齢者支援金分を合わせた税率は、前年度対比で所得割が0.60ポイントの減となり、税額は均等割が1,400円、世帯平等割が1,300円それぞれ引き下げとなりました。被保険者一人当たりの税額は、前年度対比で4,621円、率にして5.5%の減となり、一世帯当たりの税額でも9,017円、率にして6.5%の減となりました。

議案第54号

財産の取得について可決

消防ポンプ自動車2台を購入するものであり、全会一致で可決しました。既に契約金額40,169,360円で仮契約を締結しており、亀谷屯所と岳屯所に配備される予定です。



配備予定の消防ポンプ自動車

議案第55号

杉田駅周辺整備事業費の増など一般会計補正予算案を可決

国県等補助事業の採択等による必要な措置を行うとともに、事務事業の変更・追加に伴う経費などを計上した補正予算で、全会一致で可決しました。



周辺が整備される杉田駅

補正予算の主なもの

○杉田駅周辺整備事業費の増	1,040万円
○二本松北学童保育所の新設に伴う運営経費の増	389万円
○生活用水確保のための井戸ボーリング工事費補助金の増	2,000万円
○農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金の増	104万円
○塩沢小学校、二本松第一中学校便所洋式化整備工事費の増	4,730万円

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第45号	専決処分の承認を求めることについて (二本松市税条例等の一部を改正する条例制定について)	原案承認 (全会一致)
第46号	二本松市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第47号	二本松市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第48号	二本松市税特別措置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第49号	二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第50号	二本松市学童保育所条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第51号	二本松市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第52号	二本松市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第53号	二本松市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
第54号	財産の取得について	原案可決 (全会一致)
第55号	令和元年度二本松市一般会計補正予算	原案可決 (全会一致)
第56号	令和元年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)
第57号	令和元年度二本松市介護保険特別会計補正予算	原案可決 (全会一致)

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第2号	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
第3号	中小企業・小規模事業者を支援し、最低賃金の大幅な引上げを求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
第4号	新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第3号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採択 (全会一致)
第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書提出の請願について	採択 (全会一致)
第5号	中小企業・小規模事業者を支援し、最低賃金の大幅な引上げを求める意見書の提出について	採択 (全会一致)

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算、国民健康保険特別会計補正予算等について

○令和元年度二本松市一般会計補正予算

問 移住・定住促進事業の移住支援金給付事業補助金について、移住者の居住期間等の条件はあるのか。

答 年齢制限は特に無く、住民票を移す直前に連続して5年以上、東京圏に在住していることである。

問 再生可能エネルギー事業について電力小売事業の可能性調査の内容はどのようなものか。

答 主に固定価格買取制度が終了する案件（卒FIT）の電力を調達して、公共施設等の電力に供給した場合、電力小売事業の可能性や太陽光発電の予測、公共施設等への供給システムなどについての調査を市が主体的に取り組むものである。

○令和元年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

問 国民健康保険税の軽減措置について、世帯の軽減判定所得の算定に用いる金額が引き上げられる

ことによって対象となる世帯数と人数はどのくらいか。

答 5割軽減対象世帯が21世帯で32人、2割軽減対象世帯が31世帯で55人である。

意見 今年度の国保の税率・税額等が示され、前年度対比でそれぞれ引き下げという提案がされており評価する。

なお、市民に公平な課税、徴収率向上など事務を適正に執行してほしい。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

一般会計補正予算について

問 農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金について、要望のあった8件の地域別内訳はどのようにしているか。また、どのような経費が補助対象となるのか。

答 地域別内訳は、二本松地域が2件、安達地域が3件、岩代地域が3件となっている。また、補助対象となるのは、既存ハウスの本体補強、防風ネットの設置、気象災害対策等の経費であり、今後10年以上使用する見込みのある小規模ハウスが対象となる。

問 水道未普及地域の井戸ボーリング工事費補助について、今年度の申請件数は現在何件か。また、昨年度、渇水のあった初森地区の現在の状況はどうか。

答 現在の申請件数は49件である。うち初森地区の

申請件数は3件であるが、まだ不安に思っている方もおり、今後も申請があれば対応していきたい。



机上審査の様子

6月17日に付託された各議案は、6月21日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日26日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。
各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

○二本松市学童保育所条例の一部を改正する条例制定について

問 二本松北学童保育所ができることで現在の学童保育所との関係はどのようになるのか。

答 利用希望者の増加に対応するため、新たに公設により二本松北小学校に設置するのが『二本松北学童保育所』であり、小学校1年生から3年生は、これまでどおり同朋幼稚園で学童保育を実施し、4年生から6年生を新設する二本松北学童保育所の対象とする考えである。

○令和元年度二本松市一般会計補正予算

問 学校施設整備事業について、トイレの洋式化の現在の状況はどうか。また、今後はどのような計画であるのか。

答 現在の小・中学校のトイレ洋式化率は、35.4%

である。また、令和5年度までの年次計画により、全ての学校において、校内の便器数の2分の1が洋式となるよう整備を目指す考えである。



机上審査の様子

請 願 ・ 陳 情 に つ い て

Q 「請願」「陳情」ってよく聞きますが、どういうものなの？

A 市民の皆さんの要望を市政に反映させる方法の一つに「請願」や「陳情」があります。市民の皆さんに限らず、どなたでも市政への要望などを請願書や陳情書として議会に提出することができます。

Q 「請願」と「陳情」の違いは？

A 議員の紹介があるものを「請願」、ないものを「陳情」と言い、「請願」は委員会で審査され、本会議で採択・不採択を決めます。

本市では、「陳情」は内容によって「請願」と同じ取り扱いにするかなどを議会運営委員会で決定し、「請願」扱いにならなかった「陳情」は陳情書の写しを全議員に配布することとなります。

Q 「請願」が採択されたら、どうなるの？

A 採択されたものは、市長にその実現を要望したり、国や県、関係機関に意見書などを提出したりします。

Q 提出の方法は？

- 提出場所 二本松市役所 5階 議会事務局
- 受付締切 定例会開会日の概ね5日前の午後5時まで

※3月、6月、9月、12月の定例会で審査されます。締切日を過ぎた場合は次回の定例会扱いとなります。

- 問合せ先 議会事務局（電話0243-55-5144）

（記載例）

（表紙） 請 願 書（陳情書） ○○○○○に関する請願書 紹介議員署名 （または記名押印）	（内容） 件名 請願の趣旨 理由 年 月 日 請願者住所 氏名 印 二本松市議会議長 様
---	---

◎紹介議員の署名か記名押印が必要です。

一般質問

市の明日を考える!

6月定例会の一般質問は、6月17日から20日までの4日間にわたって行われ、19人の議員により、活発な議論が展開されました。
主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧くださいます。

[発言順]



佐久間 好夫

[真誠会]

- 問** 東和学童保育所の通所安全対策について伺う。
答 国道349号線の歩道にガードレール等の設置を要望していく。
- 問** 岩代地域杉内仮設住宅跡地の有効活用は。
答 市民のスポーツの振興と健康増進を図るため、人工芝サッカーコート2面と、トイレ・駐車場等を整備する。
- 問** 新生児難聴支援について伺う。
答 市では「新生児聴覚検査実施要綱」により、「母と子の健康のしおり」に添付して新生児聴覚検

東和学童保育所の通所安全対策は

安達地方減容化施設の安全対策は

- 査受検票を交付している。
- 問** 2年前の豪雨による東和地域の市道整備について伺う。
答 支所と連携し被災箇所の点検を密に行い、適切な安全対策を講じながら災害復旧を図る。
- 問** 安達地方減容化施設の安全対策について伺う。
答 廃棄物運搬に伴う安全対策が図られており、7月の仮設焼却施設運営協議会の結果は「安達地方減容化事業だより」を東和地域の各世帯に配布する。施設見学は、協議会で決定し受付する。

大規模災害時の対応は

若年者や子育て世代に選ばれる要素は

- 問** 大規模災害時の職員配置体制は。
答 職員配備計画により、震度5弱以上で半数、震度6弱以上で全職員が登庁することになる。
- 問** 災害時の備蓄品詳細と配備施設はどこか。
答 食料として、アルファ米と備蓄用クッキーを約25,000食、水は500mlのペットボトルで25,000本を、本庁、各支所、各住民センターに備蓄しており、衣類や携帯トイレ、マスクなども保管している。
- 問** トイレトレーラーの導入の考えは。



坂本 和広

[真誠会]

- 答** 水洗トイレを搭載した専用トレーラーは、被災地に到着後すぐに利用できるメリットがあり、財源の確保も含めて検討していきたい。
- 問** 若年者や子育て世代に対する政策的支援策は。
答 就業支援や住居関係の補助、子育て支援では、第2子以降の原則保育料無料化などの支援策を多数実施している。
- 問** 地域情報分析システム(リーサス)の活用は。
答 市の総合的な施策の検討や立案に際し、分析から得られる情報を活用している。



齋藤 徹

[市政刷新会議]

本市の防犯灯及び商店街街路灯への対応は

二本松城跡前施設の現状と物販への対応は

問 二本松駅南地区整備において周辺地域の市海道・茶園・金色地区の防犯灯の新設は考えているか伺う。

答 既に何箇所か街路灯を新設している。今後、駅南地区の整備が進む中で、人の動線が変わり街路灯が必要となる所もある。要望をいただきながら現地を精査し、検討していく。

問 商店街街路灯の維持管理・電気料の補助や無料化の支援について伺う。

答 商店の減少問題もあることから、設置時の補助

事業の活用状況、事業採択時の要件の確認等、実態の把握と今後の維持管理のあり方について、調査、研究することも検討していく。

問 二本松城跡前施設の現状と物販への対応は。
答 令和3年度の施設オープンを目指し、実施設計を進め、予定地において埋蔵文化財の調査を実施している。発掘物に関しては、当該施設の展示資料として活用する。物販に関しては、桜まつりや菊人形展などのイベント時に、当該施設や多目的広場などでの物販を予定している。

農業機械保守点検事業は

道路整備の見通しは



安齋 政保

[市政会]

問 平成30年度の利用者数と利用された農家の面積別の内訳は。また今後の取組みは。

答 市全体で18件の申請があり、16名が利用。受託面積の内訳は、2ヘクタール未満が2名、2ヘクタール以上5ヘクタール未満が4名、5ヘクタール以上10ヘクタール未満が7名、10ヘクタール以上が3名となっている。今後は、必要があれば事業内容等の見直しも検討していく。

問 一級市道33号線、赤坂山・田尻線の側溝改修

(上川崎道下地内)による道路部分改良は。
答 道幅が狭く側溝も低い位置に敷設されており、今後の車すれ違いに支障のある状況であり、今後、交通量、緊急性も含め調整して検討していく。

問 市道245号線、陣場・油王田線(小沢地内)の部分拡幅はできないか。

答 通勤時間帯を中心に交通量も増え、また通学路にも指定され安全確保が課題であり、交通量、緊急性も含め調査を行い、財政状況も十分考慮しながら検討していく。



本多 俊昭

[無所属]

農業振興と復興・再生並びに
市民生活の安全安心確保の現状は

問 福島県が実施したため池等のモニタリング調査で1,000Bq(ベクレル)単位ごとの箇所数は。

答 市内全体で150箇所のため池調査において放射性セシウム濃度の分布内訳は、1,000Bq未満10箇所、2,000Bq未満17箇所、3,000Bq未満18箇所、4,000Bq未満10箇所、5,000Bq未満10箇所、6,000Bq未満12箇所、7,000Bq未満7箇所、8,000Bq未満8箇所、9,000Bq未満10箇所、10,000Bq未満5箇所、20,000Bq未満25箇所、30,000Bq未満10箇所、40,000Bq未満4箇所、

50,000Bq未満4箇所である。

問 住民センターごとのため池除染箇所数は。
答 二本松地域で、二本松、塩沢地区共に0箇所、岳下地区1箇所、杉田地区5箇所、石井地区8箇所、大平地区4箇所、安達地域で、油井、下川崎地区共に0箇所、渋川地区1箇所、上川崎地区6箇所、岩代地域で、新殿、旭地区共に0箇所、小浜地区5箇所、東和地域で、針道地区2箇所、戸沢地区2箇所、太田地区6箇所、木幡地区7箇所である。

限界集落となった地域の今後の対応は

パークゴルフ場建設予定地は



平栗 征雄

[市政刷新会議]

問 限界集落では1人住いや2人住いの高齢者が増えてきており、コミュニティ社会の崩れが生じ交流の無い地域となりつつあるが、地域づくりについてはどのような対策があるか。

答 アンケートによると外出する傾向が高く、元気な方が多く見受けられ、健康づくりやグループ活動等の地域活動の担い手として期待している。「老人クラブ」への支援もあり、皆さん利用して活躍していただきたい。

問 広大な市有地のスカイピアあだたらを十分に生

かし、健康維持・増進を図る施設建設は、大変喜ばしいと感じる。場所や施設設計事業者の選定について、その進捗状況を伺う。

答 場所の選定は、老人クラブ等利用者の要望もあり、早期に完成させること、市の経費負担を極力抑えること、温泉施設があり市民の健康増進に有効であることを総合的に勘案し、スカイピアあだたらを候補地として考えた。今後、設計業者は、市の入札制度に則り選定していく考えである。公認コース等も今後検討する。



鈴木 一弘

[市政刷新会議]

問 公共交通無料化実施に伴う効果について伺う。

答 本年4月、5月と前年同月の乗車人数については、コミュニティバスについては減少し、デマンドタクシーについては24.5%の増加、ようたすカーは22.6%の増加となり、高齢者の公共交通の利用促進につながっているものと考えている。75歳以上の運転免許証の自主返納についても、増加傾向であり一定の動機付けの効果があるものと考えている。

問 改正健康増進法における法の解釈と本市の受動

公共交通運賃無料化実施に伴う効果は

本市における受動喫煙防止対策は

喫煙防止対策は。

答 本市の受動喫煙防止対策は、望まない受動喫煙防止に積極的に取り組むことで、市民の一層の健康増進を図り「健康長寿都市・二本松」を実現するため、市庁舎をはじめとする第一種施設及び公園・体育館等の第二種施設を含め市公共施設については、7月1日より敷地内全面禁煙とする。ただし、市内4ヶ所にある「道の駅」については、屋外喫煙場所の設置について、今後検討する。

地域の安全を担う消防団員の今後の確保策は

安全で安定した水の確保を



石井 馨

[無所属]

問 消防団員の確保対策と待遇改善について、火災や災害時などの出勤に対する手当が必要と思うが、当局の考えを伺う。

答 事業所などへの訪問で団員が活動しやすい環境作りを進めている。建設業者等の格付け項目に消防団活動協力を盛り込んでいる。出勤手当については、出勤状況の把握が難しく現時点では一人年額8,000円の活動報償費を支給している。変更する予定はない。

問 水道未普及地における今後の拡張計画は。

答 上水道、岩代・東和の簡易水道も含め、未普及地解消事業調査の結果等を踏まえ、事業の在り方等を含めて、総合的に検討していく。

問 井戸ボーリングについて現在の補助率、補助額は現状に合っていない。増額すべきでは。

答 井戸ボーリングに対する補助金については、生活用水確保に支障を来している現状に鑑み、利用者負担軽減につながる制度への改善を検討していく。



小林 均

[公明党]

問 会計年度任用職員に移行する臨時職員の人数及び業務内容は。また、処遇改善の考えは。

答 現在347人。30種程度の雇用形態があり、詳細を整理中。改正法に沿って処遇改善を図る。

問 2020年4月までのスケジュールは。

答 配置計画・予算は年内までに調整、関係条例等は12月議会に提案、4月採用に向け準備中。

問 フルタイム・パートタイム勤務の運用内容は。

答 原則として、パートタイムでの任用を基本とする。フルタイム勤務の職員は共済組合加入や退

会計年度任用職員制度の実施内容は

乳児用液体ミルクを災害時の備蓄品に

職手当の支給等多額の財政負担が生じるため、真に必要な職種に限定せざるを得ない。

問 災害時の備蓄品に、本年3月から販売が開始された国産の液体ミルクを加えてはどうか。

答 災害時、乳幼児にとって必要不可欠なものであり、今後整備すべき備蓄品として検討する。

問 液体ミルクのその他の効果をどう考えるか。

答 災害時以外にも、外出や夜間の授乳の際も重宝であり、男性や祖父母でも容易に授乳できることから、男性の育児参加を促すものとする。

通学路等の安全対策は

定住促進住宅取得奨励金の制度改正の考えは

問 防犯対策における登下校時の対応と指導について伺う。

答 各学校において、二本松警察署の協力を得ながら、児童生徒の発達段階と各地域の実態に応じた交通安全教室、防犯教室を開催している。今後も関係機関等共有し児童生徒の登下校時の安全確保に努めていく。

問 支給対象を市内業者と契約して建設した場合にのみと改正した理由は。

答 財源として、国から交付された復興支援交付



小野 利美

[市政会]

金を充てていたが、それが無くなったことと、地元の業者を活用することにより地域経済の活性化を図ることが主な理由である。

問 住宅を取得する若い世代が平等に支給を受けられることができるよう、規定等の改正の考えはないのか。

答 若い世代の定住促進と地域経済の活性化を図るために実施してきたが、財政状況等も考慮し、今後の推移を見守っていきたい。



加藤 建也

[無所属]

サッカー場と岩代公民館宿泊施設整備による

岩代地区の振興は

問 岩代地域の杉内多目的運動広場サッカー場整備の進捗状況と財源について伺う。

答 人口芝サッカーコート2面等を約10億円の予算で過疎債を充当し整備するが、サッカー協会の補助金も生かせる。

問 岩代公民館宿泊施設整備の進捗状況を伺う。

答 サッカー場の整備と併せ、地域住民や公民館利用者の利便性の確保や望ましい宿泊施設のあり方などについて調査研究を行い、検討を加えていく。

問 サッカー場整備による岩代地区の振興をどのように捉えているのか伺う。

答 施設の整備により施設利用者の増が見込まれ、そこから波及効果も生まれ地域の活性化につながるかと考えている。



サッカー場整備予定の杉内多目的運動広場

医師確保対策の現在までの経過は

高齢者の安全運転に関する啓蒙活動は



佐藤 有

[真誠会]

問 若い世代の定住促進と出生率を高めるための新5ヵ年プラン子どもや若者の未来を創るまち、子どもを産み育てやすいまちを推進しているが、その環境づくりのための医師確保についての経過と問合せについて伺う。

答 医師派遣を望める全国の国公立・私立の大学医学部及び医科大学に対し、文書による周知・PRを図ったところ、数件の問合せがあり詳細の説明を行ったが、実績に繋がる状況には至らなかった。

問 全国各地で高齢者の運転による交通事故が多発しているが、本市にあっても、地域の利便性から高齢者の運転機会も多く事故が懸念される。本市から高齢者による事故をなくすために啓蒙活動の考えはあるか。

答 高齢者の交通安全対策は喫緊の課題である。警察署をはじめ交通関係機関や各種団体と連携し、あらゆる機会を捉えて安全運転の啓蒙に努めるとともに、広報紙やウェブサイト、防災ラジオ等により事故防止について情報発信する。



佐藤 運喜

[市政刷新会議]

市内小中学校の不登校の実態と対応は

連携中枢都市圏の取組みと今後の方向性は

問 市内の不登校の人数と市としての対応は。

答 小学校は5校で9名、前年度対比2名の減。中学校は全ての学校において61名、前年度対比16名増で増加傾向にある。この対策として各学校、保護者等と連携し協同体制で対応する。教育委員会としては、スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの派遣、生徒指導主事や教育相談員の専門研修を実施。市教育支援センターにおいては、独自の教室を設置して改善と充実を図る。さらに個々人の心のケアに取り組む。

問 市町村の広域連携でこおりやま圏域と福島圏域の両方に参画する場合のメリットと本市の観光、農業への効果、具体策は。

答 両圏域の持つ強みを上手に取り入れ本市にあった取組みの選択肢が増えること。観光面は、ルートの発掘や大型イベントへの参加、開催、誘致と交流人口の拡大を見込む。農業面では、広域圏を生かしてブランド化や6次産業化に向けて大学や研究機関と連携して交流、地産地消の拡大に務める。

2018年の合計特殊出生率は

教育環境整備の現状は



熊田 義春

[市政会]

問 本市の合計特殊出生率は、またそれをどうとらえているのか伺う。

答 市町村ごとの合計出生率は、厚生労働省から5年に一度公表されており、現在公表されている最新の合計特殊出生率は、平成20年から平成24年までの数値で、1.39となっている。福島県の合計特殊出生率1.53や全国の合計特殊出生率1.42と比較しても低い数値となっているが、当市の状況を出生数で見ると、平成29年の330人より12人増加しており、結婚促

進事業や子育て支援事業の成果が表れていると考える。

問 小中学校のいじめ問題件数と不登校生数は。

答 平成30年度のいじめ問題を認知した小学校は14校で108件、中学校は7校全てで認知しており24件である。不登校児童生徒数は小学校5校で9名、中学校は全ての中学校に不登校生徒がおり、合計で61名となっている。前年度比16名の増加となっている。



菅野 明

[日本共産党二本松市議団]

公共交通運賃無料乗車証の申請人数等は

安達東高校統合問題の市教委の認識は

問 4地域の申請受付人数及び地域別の75歳以上高齢者に占める割合は。

答 高齢者数は4月1日、申請数は5月末現在で、二本松4,756人のうち1,275人で26.8%、安達1,730人のうち371人で21.4%、岩代1,373人のうち359人で26.1%、東和1,339人のうち344人で25.7%、市全体で9,198人のうち2,349人で25.5%である。

問 利用（申請）者増を図る手立ては。

答 高齢者団体の市あだたらクラブに対し、総会時

にPRし、合せて福島交通が実施している「バスの乗り方教室」でも案内している。今後もPRし、公共交通運賃無料化事業を市民に浸透するよう努める。

問 安達東高校の統合問題での市教委の認識は。

答 本年2月に「県立高校改革前期実施計画」が公表され、二本松工業高校と安達東高校が令和5年度統合予定として再編されることについて、卒業生、在校生をはじめ市民にとっても甚だ遺憾であると言わざるを得ない状況である。

広域連携中枢都市圏、どのような議論がされているのか、決定していることは何か



平 敏子

[日本共産党二本松市議団]

問 具体的に何を進めていくのか。

答 人口ビジョン50万人維持を目標に、「経済成長のけん引」「高次都市機能の集積・強化」、その他の達成に向けて、「生活関連機能の向上」の各分野において具体的な連携事業を段階的に推進する計画。具体的には、農産物の海外販路創出、外国人旅行者にも対応する広域観光ルートの形成、職員研修や教職員研修の広域化、公共施設の相互利用などの各分野の取り組みが進められている。

問 市町村が対等平等の関係の立場での連携か。

答 自治体間の「連携協約」に基づき、双方の議会の議決を経て締結されるもので、対等平等の立場でそれぞれ意思決定される。

問 市町村の意見が反映されるのか、チェック困難にならないか。

答 「都市圏ビジョン」は各市町村との協議、民間の有識者や関連分野の代表者による懇談会の意見を反映させることが求められている。市民や議員にも十分に説明しながら進めていく。



佐藤 源市

[市政刷新会議]

広域営農団地安達東部戸沢事業変更の経過は

平成30年度の税収納及び各滞納状況は

問 事業変更の経過と今後について伺う。

答 土地改良法に基づき計画変更（廃止）の手続きを進め、受益者の同意を得、県における書類審査、関係機関と協議を終え、現在は市において変更計画書公告・縦覧を進め、計画変更（廃止）の法手続きが完了する見込みである。

問 地元受益者の要望及び市長期計画へ移行は。

答 今後の整備方針は、やむを得ず事業廃止のため、地域住民との意見交換を行い、旧東和町での費用負担の経過もあることから、関係部局と協議

を進める。

問 各種税収納状況及び滞納状況について伺う。

答 市税収入済額63億9,742万円で89.5%、国保税収入済額11億7,968万円で69.4%、各種税、住宅使用料、保育料、学校給食費負担金の合計は12億510万円である。

問 徴収嘱託員の徴収割合と徴収率向上は。

答 徴収嘱託員による徴収割合は0.3%。文書による納付督促及び財産調査を実施し、滞納者の実情を踏まえ適切に滞納処分を行う。

再生可能エネルギー推進事業の進捗状況は



野地 久夫

[市政刷新会議]

問 (仮称) 二本松電力設立準備会社〔株〕ゴチカンのFIT (固定価格買取制度) 認定件数 (市有地・民有地、農地・非農地) と事業計画を伺う。

答 私有施設60件、市有地3件、民有地25件 (農地20件、農地外5件) で、収益性を見込める箇所から経済性評価を行い事業化の検討を進める。今年度は有望な市有地3箇所、民有地1箇所の事業化を検討し進めたい。

問 (仮称) 二本松電力への出資金、補助金等の交付や事業への関わりを伺う。

答 太陽光発電箇所の収益調査を進め、事業計画や収支計画が固まり、資金需要を把握した段階で市の出資を提案する。今後策定される事業計画、収支計画を検証し、公益性が認められれば、可能な範囲で支援・連携をしていく。具体的には、二本松電力での再生可能エネルギーを公共施設で利用し、得られた収益の一部を市内学校の環境教育や公共サービスに充てる。そのため、公共施設の電力需要等を把握し、電力小売り事業の可能性調査も検討していく。



斎藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 今年度の国保税額は、昨年度決算剰余金1億5,113万円全額繰り入れ、1人当たり前年比6,670円引き下げ88,010円になるが、国保基金は6億円もある。国保税の滞納額は、繰越分を含めて5億円。県内12市のうち、本市の国保税が一番高く、その点が滞納につながっているのでは。もっと引き下げできなかったのか。

答 被保険者の高齢化や医療の高度化による医療費増及び収納率の低下も予想され、激変緩和など将来への備えを考慮した。

さらなる国民健康保険税の引き下げを

問 本市の国保税の均等割32,400円 (1人当たり) は他の社会保険にはない制度。全国の25市4町で18歳以下の子どもの均等割を減免している。本市での検討は。また影響額は。

答 子育て世帯の負担軽減のため、国による財源措置を求めていく。今後、県内他市町村の動向も注視しながら対応を検討する。本市の子どものいる国保世帯は463世帯803人、減免額は最大で2,601万円。うち子ども2人以上は234世帯340人。3人以上は77世帯106人。

今月の表紙

安達ヶ原ふるさと村公園河川敷広場のオープニングセレモニーが6月5日行われました。

オープニングセレモニー終了後は、まゆみ学園の園児たちが学園行事で同広場を訪れ、元気いっぱい芝生の上を駆け回りました。



バーベキューやキャンプでも利用できます。

議会映像をライブ中継 (生放送) しています!

二本松市議会ウェブサイトにおいて本会議の映像をライブ中継で配信しています。

また、議会ウェブサイトでは、その他次の情報をご覧いただけますので、ぜひご覧ください。

- ・市議会のしくみ
- ・議員名簿
- ・議会中継
- ・会議日程・結果
- ・委員会 (行政視察報告)
- ・市議会だより
- ・会議録
- ・議長交際費
- ・政務活動費



6月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

議案第49号 二本松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について

議案第56号 令和元年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算

賛成

菅野 明 議員

被保険者の負担軽減を図るため、前年度決算剰余金見込額1億5,113万円全額を今年度国保会計へ繰入れ、前年度対比で一人当たり6,670円減、一世帯当たりでは12,521円減で、2年連続の引き下げとなり、大いに評価する。

全国知事会や市長会は、高い国保税を引き下げるため「1兆円の公費投入」を政府に求めている。共産党も国会や地方議会で繰り返し求めており、1兆円を使い均等割と平等割を無くせば社会保険料並みにすることができる。

請願第5号 中小企業・小規模事業者を支援し、最低賃金の大幅な引上げを求める意見書の提出について

賛成

斎藤 広二 議員

福島県の最低賃金は時給772円で月額13.4万円。同じ仕事をしていても東京都と年収で39万円も格差がある。25歳単身者の最低生計費は23万円で時給に換算すると1,480円が必要。

欧米では、政府が中小企業の社会保険料負担に数千億円の支援をしているが、日本はわずか7億円である。共産党は、直ちに時給1,000円に引上げ、さらに1,500円を目指すため、7,000億円の支援を提案。大企業への優遇税制を中小企業並みの負担にすれば4兆円の財源が生まれ、実現は充分可能である。

みんなで徹底しよう

「三ない運動」

政治家は有権者に寄附を
贈らない！

有権者は政治家に寄附を
求めない！

政治家から有権者への寄附は
受け取らない！

寄附には次のものも含まれます。

- ・病気見舞い
- ・町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ
- ・お祭りへの寄附や差し入れ
- ・秘書等が代理で出席する場合の結婚祝
- ・お中元・お歳暮・お年賀
- ・地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- ・入学祝・卒業祝
- ・秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典
- ・葬式の花輪・供花
- ・落成式・開店祝の花輪

◎政治家（候補者、候補者になろうとする者、現に公職にある者）が選挙区内にある者に対して寄附をすることは、その時期や名義のいかんを問わず禁止されており、罰則の対象となります。

お知らせ

今回の定例会は9月上旬に開会の予定です。

本会議は、当日住所と名前を記入するだけで傍聴できます。市役所6階の議場・傍聴者入口からご案内しています。皆さまお気軽に傍聴においでください。

市議会だより、または、当市議会に対するご意見ご感想をお寄せください。



市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1

TEL 55-5143（議会事務局）

FAX 22-6047

E-mail gikaisomu@city.nihonmatsu.lg.jp



傍聴者の声

小浜レディースセミナー 坂本 マサ子 さん
 今回は2回目の議会傍聴でしたが、大変に活発で緊張感ある一般質問と議論に身の引き締まる思いでした。

特に私達高齢者にとって関心がある「地域包括支援センター事業」や地域みんなで支えていくべき「特別支援学校開設」についての議論には共感を覚えました。

人口の減少・地域の過疎化が進むなか、皆で知恵を出し合って共に手を携え、文字どおり住み良い二本松市を不断に目指すため、議会の更なる活躍を期待しております。



6月19日 小浜レディースセミナーのみなさん



6月19日 旭女性セミナーのみなさん

下川崎ふれあい学級 野地 秀克 さん
 私を含めほとんどの会員は、初めての議会傍聴でした。一般質問の初日とあって粛々と議事が進められる様子、市の担当者の答弁など、国会本会議や予算委員会などのテレビ中継と違いヤジも無く、むしろ静かで物足りなさを感じました。

市の中心部と過疎化の進む地方との格差、仮設住宅跡地の利用に何十億もかかること等、年金暮らしの私達にとっては雲の上の話ですが、将来の二本松市にとって、子ども達のために、必要なのかもしれません。

大変勉強になりました。感謝しています。



6月17日 下川崎ふれあい学級のみなさん

全国市議会議長会表彰

6月11日に東京国際フォーラムで開かれた全国市議会議長会第95回定期総会において表彰された議員の表彰状の伝達が、6月定例会最終日に行われました。

【正副議長歴4年以上】

本多 勝実 議長（副議長4年）

【議員歴15年以上】

平塚 與志一 議員



(写真左から)平塚與志一議員、本多勝実議長

編集後記

5月1日、平成から令和へと元号が変わり、令和最初の6月定例会は通称「国保議会」とも言われており、国民健康保険税の本年度の税額が決定する大変重要な定例会です。一般質問では19名の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

また、5月に行われた議会報告会では、お忙しいなか多くの市民の皆様にご参加いただき、さらに貴重なご意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後も、更に市民の皆様にかかりやすい議会だよりを発行して参ります。



編集委員会
 委員長
 副委員長
 委員
 員

佐藤 運喜
 石井 敏子
 平井 好夫
 佐久間 敏子
 斎藤 徹
 坂本 和広